

令和8年度蒲刈中学校区研究推進計画

1 学校教育目標 「未来を拓く児童生徒の育成」

2 目指す児童生徒像

- ① 学んだことを実際の社会や生活の中で生きて働かせる児童生徒
- ② 自分の意見をもち自分の言葉で表現できる児童生徒
- ③ 困難な状況にも臆することなく挑もうとする児童生徒

3 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

質・能力 設定した資 質・能力	知識及び技能	思考力，判断力， 表現力等	学びに向かう力，人間性等
	知識・技能	自己表現力	挑戦する力
児童・生徒像 目指す	学んだことを実際の社会や生活の中で生きて働かせる児童生徒	自分の意見をもち，自分の言葉で表現できる児童生徒	困難な状況にも臆することなく挑もうとする児童生徒
後期	各教科等・領域で求められている知識・技能を身に付けることができる。	○相手の意見に対して，賛成・反対の立場を明らかにし，自分の意見を論理的に表現できる。 ☆複数の視点を取り入れながら，より俯瞰的に自分の意見を広げたり深めたりできる。	○課題に対して自分なりのアプローチを考え，困難を乗り越えたあとの達成感を得て，次の挑戦への意欲をもつ。
中期		○根拠をもって自分の意見を表現したり，他者が理解しやすいようにまとめたりできる。 ☆他者の意見を聞いたうえで，自分の意見を深めたり，新しい考えを取り入れたりできる。	○困難な課題に対し挑戦する過程で，周囲と協力しながら粘り強く取り組む姿勢をもつ。
前期		○自分の考えや感じたことを相手に伝えるように工夫して表現できる。 ☆他者の意見を聞いて，自分の考えと同じところやちがうところを見つけることができる。	○小さな挑戦を楽しむ気持ちや，失敗から学ぶ姿勢をもつ。

4 研究主題等

(1) 研究主題

自ら挑戦し，学びを生かして表現する児童生徒の育成
～「主体的な学び」を支える授業デザインと場づくりを通して～

(2) 設定の理由

広島県「学びの変革」の重点取組には、「個別最適な学びと協働的な学びの充実には、安全安心な学習集団づくりが重要である」と示されており、生徒指導の実践上の視点を踏まえた集団づくりとして、「共感的な人間関係の育成」「自己存在感の感受」「自己決定の場の提供」「安全安心な風土の醸成」が挙げられている。子どもたちが主体的に取り組む場を増やし、教師が子どもの頑張りや成長を認めることが大切である。

本中学校区では、小規模校として、

- ・児童生徒一人一人と関わる時間が多く、多面的・継続的に個に応じた指導・支援が可能
- ・教職員間の学年を越えた連携が取りやすく、柔軟な教育活動が可能

という強みを有している。その一方で、

- ・少人数クラスのため、大人数の前で表現する機会が少なく、大勢の前では萎縮しやすい。
- ・学習や行事を進める際に、教師への依存性が高くなりやすく、課題解決に向けて試行錯誤する経験が不足しやすい。
- ・幼少期から変わらない人間関係で過ごしているため、互いに同調しやすかったり、役割が固定化されたりし、新たな挑戦に向かいにくい。

という課題もある。

このような実態から、育成を目指す資質・能力を「知識・技能」「自己表現力」「挑戦する力」の3つと定め、学校教育目標「未来を拓く児童生徒の育成」のために取組を進めているところである。

昨年度は、授業改善として『ファシリテーターのスキル』として分けられた12の要素のうち、「話しやすい雰囲気をつくる」「発言を受け止める」「意見を引き出す」の3つを中学校区の重点項目として、教師のファシリテーションのスキル向上を目指した取組を行った。具体的には、校内研修において各々のファシリテーションについての取組を交流したり、学習指導案の中にファシリテーションの項目を位置づけたり、研究授業での協議の柱の一つとして取り入れたりした。

また、児童生徒が挑戦したり表現したりする場を増やすために、これまで行っていた小中合同行事だけではなく、小中合同朝会を複数回計画し、小学生が日頃の学習の成果を中学生に発表したり、中学生が小学生と一緒に楽しく活動できるレクリエーションを企画したりした。

その結果、児童生徒アンケートでは「表現力」「学び合い」「自己肯定感」に関する項目に少しずつ上昇が見られた。授業で学び合いの時間をしっかり確保し、教師が児童生徒の意見を引き出すためのファシリテートを行うことや行事等で一人一人が表現できる場をつくることを積み重ねていった結果、表現力も高まり、それによって学び合いの良さを児童生徒が感じることができるようになった成果であると考えられる。一方、教師アンケートでは、「児童生徒にじっくり取り組ませること」「見守りの姿勢を意識すること」については低い結果に留まった。小中の教職員間で目指す児童生徒像は十分に共有できていたが、教師の出方には個人差があり、支援のつもりで教師側から先回りして声かけをしてしまったり、じっくり待つことが十分にできなかったりしたことが反省点として挙げられる。今後は児童生徒の主体的な学びにつなげるために教師側の姿勢を改めて捉え直し、小中学校9年間を通した系統的な取組として進めていく必要がある。

そこで今年度は、授業、行事の両面から児童生徒の主体的な学びを支えていくことを中心に据え、授業づくりを系統的に進める「伸ばす学力部会」と、合同行事を中心に児童生徒の挑戦の場をつくる「育む心部会」の2部会を設け、児童生徒の資質能力の向上を図っていくこととする。

(3) 研究仮説

授業や行事において、児童生徒の「主体的な学び」を支えるための授業デザインと場づくりを小中学校9年間で系統的に進めていくことで、自ら挑戦し、学びを生かして表現する児童生徒の育成ができるだろう。

5 研究内容

① 「伸ばす学力部会」…児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりの推進

- 取組
- ・発達段階に応じた学びのステップの活用
 - ・学習リーダーが進める授業づくりの推進

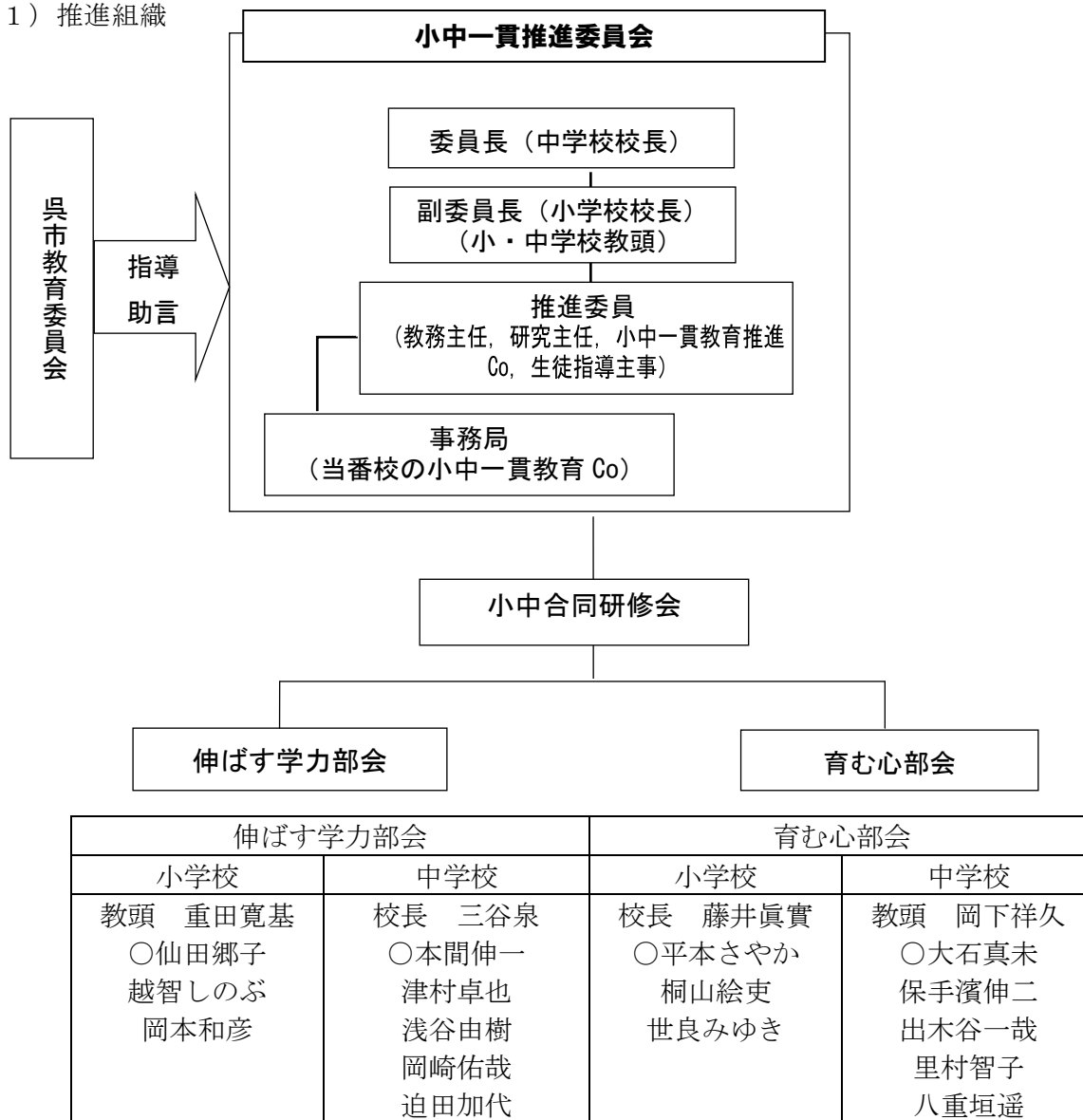
② 「育む心部会」…発達段階に応じた挑戦する場の設定

- 取組
- ・合同行事等での生徒会や小学校高学年の活躍の場づくり
 - ・各学年が輝ける合同朝会の実施
 - ・自己の成長を実感できるチャレンジシートの継続的な取組

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 学力の向上について	小6, 中3対象 全国学力・学習 状況調査(国 語・算数, 数学)	全国平均との差	小国語 +16.2 中国語 - 1.3 小算数 +21.0 中数学 - 8.3	全国平均との差 小国語 +6.0 中国語 +5.0 小算数 +5.0 中数学 +5.0 (呉市教育振興 基本計画より)
	小全員, 中1・ 2対象 標準学力調査	標準学力調査評定 (5段階)	小国語 78% 中国語 100% 小算数 78% 中数学 69%	評定3以上の児 童生徒の割合 85%以上
② 授業改善について	自己表現に関 する児童生徒 アンケート	4段階評価の平均値	小 3.6 中 3.3	3.5以上
	授業改善に関 する教師アン ケート	4段階評価の平均値	小 3.8 中 2.9	3.5以上
③ 挑戦の場づくり について	挑戦・自己肯定 感に関する児 童生徒アンケ ート	4段階評価の平均値	小 3.7 中 3.2	3.5以上
	挑戦に関する 教師アンケー ト	4段階評価の平均値	小 3.7 中 2.9	3.5以上

7 推進体制等
(1) 推進組織



○…窓口

※小中一貫推進委員会の委員長，副委員長は隔年で変更する。

(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等（中→小）

・理科（6年） ・保健体育（5，6年）

イ 小学校教科担任制等 なし

8 推進計画

月 日	小学校	中学校	担当
4 月 2 日	推進委員会①（今年度の研究内容の確認・合同遠足及び運動会の確認）		小中 Co
4 月 6 日	小中合同研修①（今年度の研究内容の周知，年間計画，部会別話し合い，合同遠足及び運動会の確認，授業の進め方についての確認）		小中 Co， 運動会担当
4 月 16 日	スローガン話し合い		生徒会担当 5 6 年担任
4 月 23 日	小中合同研修会②（学びのステップの活用状況について交流）		伸ばす学力
4 月 28 日	遠足チャレンジシート配布	遠足チャレンジシート配布	育む心
5 月 1 日	小中合同遠足		小：平本 中：本間
5 月 11 日	小中合同研修③（合同避難訓練・合同運動会・配慮を要する児童生徒の共有） ※各校であらかじめ起案・共有しておく。		中：避難訓練担当，運動会担当
5 月 15 日	小中合同避難訓練（土砂災害）		小：桐山 中：里村
5 月 18 日	運動会チャレンジシート配布	運動会チャレンジシート配布	育む心
5 月 20 日	合同運動会予行演習 小中合同研修④（予行演習反省）		運動会担当
5 月 23 日	小中合同運動会		小：桐山 中：大石
6 月 日	小中合同授業研究①中学校 ※ 事前検討会 月 日		中研究主任
6 月 日	小中合同朝会①（ 年生担当）		
6 月 日	小中合同朝会②（ 年生担当）		
7 月 日	小中合同朝会③（ 年生担当）		
7 月上旬までに	1 学期の 2 部会成果と課題のまとめ	1 学期の 2 部会成果と課題のまとめ	小中各部
7 月 22 日	小中合同研修⑤（合同運動会反省・授業研究まとめ・各部会 1 学期のまとめ）		各部会
10 月 日	小中合同授業研究②小学校 事前検討会 月 日		小研究主任
10 月 日		発表会チャレンジシート配布	育む心
10 月 日	小中合同朝会④（ 年生担当）		
10 月 日	小中合同朝会⑤（ 年生担当）		
10 月 21 日	中学校発表会≠児童鑑賞		中：本間
10 月 24 日		中学校学習発表会	
10 月中		小中一貫だより①作成	小中 Co
11 月 日	発表会チャレンジシート配布		育む心
11 月 2 日	小中合同避難訓練（地震津波）		小：桐山 中：里村

11 月 10 日	小学校発表会児童鑑賞会⇐生徒鑑賞		小：平本
11 月 14 日	小学校学習発表会		
12 月中に	2 学期の 2 部会成果と課題のまとめ	2 学期の 2 部会成果と課題のまとめ	小中各部
1 月 日	小中合同朝会⑥（ 年生担当）		
1 月 26 日	小中合同研修⑥（各部会 2 学期のまとめと来年度への課題交流）		小中 Co
2 月 25 日	小中推進委員会③（今年度研究のまとめと来年度の小中一貫教育推進計画）		小中 Co
2 月中	小中一貫だより②作成		小中 Co
3 月 23 日	小中児童連携会		5 6 年担任 中：3 年部

9 その他

- ・小中一貫教育だより（10月，2月の年2回発行予定）

※ 研究構想図，カリキュラムマップを添付する。